

ご結納のしおり

～『準備』と『ころがまえ』～



タカナベカイドウ(高鍋町美術館)

結納の意味と形式

結納の意味

一昔前の結納は、現代よりもずっと家と家との結びつきを意味していました。「結納」は「結いのもの」(結い＝協力関係)と言われ、ご両家が婚姻関係を結ぶにあたって、新しく親族となるしるしに飲食をともにする、その酒肴を意味したものです。また、結納の申し入れをする「言入」(いいいれ)が変化したものだという説もありますが、いずれにしても結納とはご両家が親族になったことを確認し祝うための儀式です。

結納の形式

結納品そのものも地域によって異なりますから、一口に結納といってもその方法、形式はさまざまです。仲人様やご両親といっしょに具体的に打合わせをする必要があります。お互いに自分の考えや地域の習慣を伝え、違いがあれば調整をします。決してひとりよがりな物の考え方をしないようにしましょう。最近では仲人を立てない場合が多いようですが、その場合は特にご両家の意思疎通がなければ、相手に恥をかかせたり、自分が恥をかいったりすることになり、せっかくのおめでたいお席が憂鬱なものになってしまいます。十分な打合わせと配慮が必要です。

(失敗例)

男性Aさんは、婚約者Bさんに気を使わせたくなかったため、簡略した結納にしたいと考え、簡単に簡単にを連発し、服装も「普段着でいいよ」とBさんと打合わせをしました。結納当日、Aさんは約束どおり、両親共々スーツなどの普段着姿でBさんのお宅へ伺った。するとBさんは、振袖ではなくワンピースを着ていましたが、Bさんのご両親は、正装礼服を着ていました。その状況に特に気難しいAさんのお父様が「恥をかい」と腹をたて、あいさつもそこそこに「あらためて出直します」と帰ってしまいました。当然ご両家の関係は、うまくいかなくなりAさんとBさんの仲も気まずくなってしまいました。AさんのBさんへのせっかくの心づかいが仇になってしまった例です。

日取りの決め方

ご結納の日取りは、本人たちと両家のご両親、仲人で話し合っただけですが、結婚式の6ヶ月前から3ヶ月くらい前にとり行うのが一般的です。日時は、いわゆる日柄のよい日にこだわる人が多いようですが、「思い立ったら吉日」という言葉もあるように、あまりこだわらずお互いに都合のよい日を選ばれるとよいのではないかと思います。また、結納式に限らずお祝い事は午前中にすませるのが理想的です。当ホテルでは、結納お食事会がちょうど昼食になるような時間の配慮をおすすめしています。

(例) 結納儀式 午前11時30分より 結納食事会 正午より

ご両家の準備（最近の傾向）

男性側

- ① 結納セット…… 簡略型を希望される方が増えてきました。レンタルされるかたもいらっしゃいます。
- ② 祝酒樽…… 市販されている角樽(1升入り2本で1万円程度)、もしくは飾り樽と瓶の日本酒を準備されます。
- ③ 夫婦鯛…… ます。

女性側

本来結納は、女性側が男性側をお迎えするものですから、女性側がお料理やお飲物を

- ① お料理・お飲物・準備します。
- ② 桜茶…… 結納式のお開き後に、桜茶をお出します。本来お嬢様がお客様にお配りするのですが、ホテルのスタッフがお手伝いします。
- ③ お茶菓子…… 桜茶といっしょにお出します。省略される方もいらっしゃいます。

結納のお席次例

結納儀式のお席次

床の間			
結納セット			
新 郎	◎	◎	新 婦
新 郎 の 父	○	○	新 婦 の 父
新 郎 の 母	○	○	新 婦 の 母
新 郎 の 兄 弟	○	○	新 婦 の 祖 父
新 郎 の 親 戚	○	○	新 郎 の 親 戚
	◇	◇	
	仲	仲	
	人	人	
	夫		

入口

結納食事会のお席次

床の間			
結納セット			
仲 人 夫 人	◇	◇	仲 人
新 婦	◎	◎	新 郎
新 婦 の 父	○	○	新 郎 の 父
新 婦 の 母	○	○	新 郎 の 母
新 婦 の 祖 父	○	○	新 郎 の 兄 弟
新 郎 の 親 戚	○	○	新 郎 の 親 戚

入口

結納品目録の準備

鈴木花子殿	平成二十年三月吉日 山田太郎	右之通銭久敷	一 一 一 一 一 一 、 、 、 、 、 、 結 高 寿 友 家 結 熨 美 栄 白 肉 喜 納 輪 砂 広 鬢 料 料 斗 壺 東 壺 荷 壺 封 壺 連 壺	目 録
-------	-------------------	--------	--	--------

結納の進め方の例

(仲人なし:ホテルで取り交わす場合)

ホテルの部屋係

男性: 山田家 太郎さん

「皆様今日は、誠におめでとうございます。」

「これより、山田家 太郎様、鈴木家 花子様のご結納の儀を始めさせていただきます。」

「それでは、山田家のお父様よろしく願います。」

山田家のお父様

「この度は、花子様と私どもの太郎に良いご縁をちょうだいいたしまして、誠にありがとうございます。」

「つきましては、本日はお日柄もよろしく、結納の儀をさせていただきます。」

「本来ならば、お仲人様をお通しして正式にお納めするのが本筋でございますが、前もってのお話どおり略式にて納めさせていただきます。」

(山田家のお父様は、結納セットの目録を持って、鈴木家のお父様の前まで進み、鈴木家のお父様にさしだします。)

山田家のお父様

「こちらが太郎より 花子様への結納の品でございます。」

「幾久しくお納めいただきますようお願い申し上げます。」

(鈴木家のお父様には、目録に目を通していただき、その後花子様にも確認をしていただきます。)

(確認後)

鈴木家のお父様

「ご丁寧にありがとうございます。幾久しく納めさせていただきます。」

山田家のお父様

「ありがとうございます。」

(山田家のお父様は元の位置へ移動します。)

山田家のお父様

「本日は、誠にありがとうございました。」

「略式ながら、無事結納を納めることができました。」

「今後ともよろしく願います。」

鈴木家のお父様

「こちらこそ、いろいろお世話になりました。」

「今後ともよろしく願います。」

ホテルの部屋係

「これにて、山田家 太郎様 と 鈴木家 花子様の結納の儀をめでたくお開きとさせていただきます。」

「皆様今日は、おめでとうございます」

「それでは、只今より、花様が桜茶の準備をされます。そのまましばらくお待ちください。」

(花様に桜茶の準備をしていただきますが、ホテルスタッフがお手伝いをさせていただきます。)

ホテルの部屋係

「どうぞ桜茶をお召し上がりください。」

(記念写真などを撮っていただきます)

「それでは、お祝いのお料理の準備をさせていただきます。おそれいりますが、ホテルのロビーでお待ち下さい。」

(お料理が準備でき次第、お客様をご案内いたします。)

(どなたか乾杯の音頭をとっていただく方をご指名ください。鈴木家のお父様か鈴木家(女性側)のご親戚がされる場合が多いようです。)